

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 46 ） 学校名 豊田市立衣丘小学校

1 テーマ

本物の自然体験活動と人とのふれあい

～「みかんの栽培」「校庭の芝生化」を通して～

2 ねらい

自然が少ない街中で暮らす子どもたちに、自然と本物にふれあう体験をしてほしい、また人との交流を通してあたたかい心の醸成をしたいという強い願いがある。創立以来続けてきた学校のシンボル「みかん」の世話と収穫を軸に、豊田スタジアムの芝生の再利用で始まった校庭の一部の芝生化によって、季節を感じて自然とふれあうこと、そして、地域を中心とした多くの人々との交流をすすめることで、豊かな人間性を育むことをねらう。

3 活動内容

- （1年）「冬野菜を育てよう」をテーマに、地域講師の力を借りてダイコンなどの栽培活動を行いながら、地域の方との交流を深めた。
- （2年）学級園で季節ごとに旬の野菜を育て、観察をした。地域講師の方に夏野菜冬野菜の世話や手入れの仕方を教えてもらった。また、学区探検に出かけ、地域のために働く人たちの思いや願いを知ることができた。
- （3年）総合的な学習の時間のテーマを「衣丘自然たんけんたい」とし、春と秋に自然体験活動を行った。学んだことを生かして、学校にいる生き物や植物を紹介した。また、理科の学習で、みかんの葉からアゲハチョウの卵を採取し成虫まで観察を行った。
- （4年）道慈小学校との交流において、道慈小学校区にある歴史的な建物の見学や、五平餅づくり、紙すき体験で和紙を製作するなど、小原地区に受け継がれている伝統に触れることができた。本校での交流会では、みかんの収穫をしたり、授業と一緒に受けたりして交流を深めた。
- （5年）総合的な学習の時間のテーマを「みかんの魅力を伝えよう」とし、みかんについて調べた。調べたみかんの魅力を家族や友達に伝え、みかんを大切に作る心を養うことができた。
- （6年）みかんの摘果や肥料やりなどの栽培活動の中で、縦割り班のリーダーとして班員をまとめた。異学年交流を通して、低学年に優しく声をかけたり、困っている子に寄り添ったりする姿が見られた。

(特別支援学級) 様々な夏野菜やダイコンなどの栽培、収穫を行った。収穫後は、野菜の販売をしたり、関わりのある教員等にプレゼントしたりして、コミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

(栽培委員会)「みかん祭り」の企画・運営を行った。また、年間を通して、みかんの水やり、摘果や寒冷紗かけ、みかんの様子が分かる動画を作成したり、児童オリジナルの「みかんマン体操」を考え全校に情宣したりした。みかんマン体操は「みかん祭り」で、全校で踊った。さらに、芝生の草取りを行った。

(全学年) 休み時間に芝生を走り回ったり、ボール遊びをしたりしている。雨天時の下校は、水はけが悪い運動場を避け、芝生で通学団ごとに集合することができている。

4 成果と課題

(1) 成果について

みかん栽培は、衣丘の伝統的な活動として定着している。この活動を維持するために、本事業の支援を有効に活用することができた。全校で縦割り班ごとに摘果をしたり、自分たちのみかんの木の様子を観察したりした。全校児童で収穫を喜び合い、収穫まで支えてくれている多くの人たちに感謝の気持ちをもつことの大切さを知ることができた。

また、「自然」「食」「環境」「命」「人」とかかわる生活科や総合的な学習の時間、学校行事等において、各学年が工夫を凝らして活動を行った。「みかん祭り」では、みかんを教材化した授業を保護者に参観してもらい、みかんを収穫して食べるだけでなく、学習へも有効活用している様子を知っていただくことができた。

保護者アンケートの中で、「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動を行っているか」という質問に対して、「とてもよい」…49%、「よい」…45%、合計 94%の回答を得た。

今後も、全校の子どもたちで作物を作ることに重点を置き、縦割り班の活動を中心として、自らの「実り」を実感し、自然の恵みに感謝できる子どもの育成に努めていきたい。

(2) 課題について

今年度も異常な暑さのため、みかんの収穫量が昨年度よりも激減した。自然のものなのでしかたがないが、栽培活動の難しさを実感した。さらに、みかんの木が老木となり、昨年度5本を移植したが、実のならない木や育たない木もあった。苗木の購入については、JAに相談し苗木を購入することになったが、2月末にならないと苗木が購入できないことや、暑さや寒さのため苗木の成長も遅れているなど、計画的に購入し栽培をしていく必要がある。さらに、みかん講師の杉浦さんが、高齢のため講師は今年度限りで引退することになり、現在はJAにも相談をしているが、後継の方が見つからない状態である。

みかんの栽培について、観察以外にもう少し子どもたちの手で手入れや世話をし

ていくことができると感じる。収穫量の減少から、子どもたちができることについて考え実践できたと思う。芝生についても、全校がさらに有効活用していけるようにしていきたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページでは、各学年や委員会活動の取組や様子を計 16 回紹介した。
- ・学校だよりで、全学年の取組を紹介した。
- ・みかん祭りや学習発表会など、特色ある学校づくり事業にかかわる公開授業を全学年で行った。
- ・これからも、保護者や地域に発信をしていきたい。